THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2018-2019）
国際会長主題 ："Yes, we can change"「私たちは変えられる」
アジア会長主題："Action！"「アクション！」
西日本区理事主題："Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future"
「未来に残すべきものを守り育てる」
中西部部長主題：「次代につなぐ夢と希望」
クラブ会長主題："With You"「あなたと一緒に」

Monthly Bulletin
第 266 号
2019 年 3 月

聖書のことば
「私はあなたがたを友と呼ぶ」
ヨハネによる福音書 15 章 15 節
選者　保田　圭子

３月第１例会プログラム

日時：2019 年３月 13 日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　今井　利子

1. 開会点鐘　國友朝子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　保田　圭子
4. ゲスト・ビジター紹介　國友朝子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
7. メンバー卓話
   「おばあさんの民話聞きませんか？
   保田　圭子さん
8. お誕生祝い
9. ニコニコ献金　ドライバー
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘　國友　朝子会長

例会当番（A）　受付当番（D）

２　月　統　計		
第１例会出席者数	例会出席率	Ｂ Ｆ 統 計
メンバー　16 名	出席者　16 名	日本　３００ｇ　累計　380ｇ
ビジター　３ 名	メイキャップ　０ 名	外国　０ｇ　累計　83ｇ
ゲスト　名	合　計　16 名	現金　円　累計　円
コメット　１名	在籍者　19 名	提供者：今井、江見、大岸、桑原
合　計　20 名	出席率　84.2%	瀬島、武井、藤井、藤好、保田、吉田

２月例会報告

ミャンマー マンダレー HITO センター 無料診療所！

吉岡　香代子

２月の例会はＴＯＦ例会なので、いつものホテルではなくて、大阪 YMCA の土佐堀会館で開かれた。今日は大阪センテニアルクラブの中村隆幸さんの「ミャンマー無料診療所について」の卓話である。

2011 年からマンダレーYMCA・HITO センターで日本語をボランティアで教えておられる。ナント！7 年余にもなるそうだ。50 年前に阪大医学部で勉強していた国費留学生を、当時、恵美奈博光さん（大阪サウスクラブ）も HITO センターで日本語を教えておられたので、その学生さんを探してもらった。2012 年から 2014 年はこの留学生に逢いに行く。そこで無料診療所でボランティア活動をしているのを知る。週末２日間の無料診療に 400 人程を診察する。マンダレー市内の人達はもちろん、車で 2～3 時間かけて受診にやって来る。無料は診療、注射、薬で、病室は無くて集会室で療養する。医療教育システムが遅れていて、開院するには病院に勤めないと駄目で、コネや袖の下が多い。国の病院での診察は無料だが薬代や検査費は高い、生活物価は安い。給料は 30,000 円／月程度。マンダレーの市街にはコンビニ、ABC、スローマートも出来ていて、三輪タクシー（トゥクトゥク）が多く走っている。地価も高くなり、軍事政権から変わって道路と橋が良くなった。市民の生活水準はまだまだ良くなったとは言えない。

私が初めてミャンマーに行ったのは、1993 年４月に大阪 YMCA からの郵政省ボランティア貯金で縫製指導の助手として

参加した。その後 2009 年 5 月まで 11 回程訪ねた。最近テレビで放映されているミャンマーの乗用車が綺麗なことや、高層ビルが林立しているのにびっくりする。

私も高齢になりミャンマー・HITO センターに再訪する自信は無いが、何かで無料診療所の開設と運営にお手伝いしたい。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

大阪 YMCA 日本語学科
日本語インタビューボランティアに参加して

大岸　弘子

１月 30 日（水）12 時～50 分，大阪 YMCA 10F に於いて学生50人，ボランティア16人の参加で始まりました。学生は２人～3 人のグループに分かれ，くじ引きで決めたボランティア１名が対面します。國友さん，吉岡さんはＡ室，藤好さん，大岸はＢ室に。若い熱気に満ちた教室に「5－B」のお二人が待ち受けていて，早速自己紹介から行いました。

中国の美女，金雨婷（キンウテイ）さんは ２ 年目，専門学校に進学し，日本での就職をめざしています。２人目の青年は台湾（台中）の陳晏碩（チンアンセキ）さん，１年半になり将来は鉄道の仕事を希望と“のりものスキダカラ”と笑顔で話してくれました。私も名前，実年齢を書き紹介すると，金さんから“トシ，ワカクミエルデスヨ”ですって。照れつつ次の質問（住まいどこ，家族，友達のこと）に答えました。

日本語は難しいでしょう？「言葉の乱れ」に「ら抜き言葉」の省略語や「大阪弁」を紹介しました。日本で住んで困ったことは何と聞きますと，金さんは“ホームシック”と，陳さんは“チューターさんが来てくれなかった時”と話され，もう少しお聞きしたかったが時間となりました。

学生の夢が叶うように，日本語上手になあれ！と願いつつ，ひとときの“ふれあい”を感じていました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

土佐堀 YMCA 「チャリティーボウリング大会」に参加して

吉田　由美

寒波の到来している２月２日（土）西梅田の桜橋ボウルにて開催された『土佐堀 YMCA クリスマス献金/チャリティーボウリング大会』に参加してきました。恒例の行事にも拘わらず、参加は初めてです。「この前いつボウリングの球を持ったかしら？」と考えても思い出せないほどの久しぶりのボウリング場です。毎年参加されている方達のビシッと決まった投球フォームに圧倒されながら、へっぴり腰のにわかボーラーは高校生の時に行った甲子園ボウルを思い出し、気持ちも高校生に戻って楽しませていただきました。

我らがなかのしまチームは可愛い留学生のリンちゃんホウちゃんと鳥居さん、私の４人です。成績はご想像に任せますが、翌日の腕の痛さとかれた声で、努力の程はお認めくださいませ。

ボウリングの後は、参加者有志で鳥居さんご紹介の北新地の居酒屋（クラブではありません）に繰り出し、楽しい交流のひと時を持つことが出来ました。来年も、この打ち上げが有るなら参加しよおっかな！なんて思いながら寒風に頬を真っ赤にして帰途に就きました。参加者数は４人一組で 14 チームです。ちなみに優勝は大阪センテニアルチームでした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

中西部「メネット交流会」に参加して

國友　朝子

去る2月9日、寒いけれども晴天の土曜日、ヒノキやスギの香りたかい大阪木材会館に於いて中西部メネットアワーが開催された。この交流会と名付けられたメネットアワーの基調講演は NPO 法人「西淀川子どもセンター」代表理事、西川奈央人さんによるものである。今期、メネット会はこのセンターの支援をしている。

２００７年に西川氏の母上によって設立され、その趣旨は子どもと親にとっての「地域で駆け込みができる場所」とのこと。「助けて」と言えるところ、である。

思えば昨今は酷薄と言ってもいいような社会の様相である。新聞には毎日のように子どもに関する胸のつぶれるような思いのするニュースでいっぱいだ。私たちが何をして何をしなかったがためにこん

旧約聖書の女性たち

江見　淑子

3. モーセの姉ミリアム（出エジプト記１章）

私の姑は聖公会の会員でした。聖公会は洗礼を受ける時洗礼名を付けます。なぜか聞きそびれましたが、マリアだということです。聞いたと時、私なら聖書の女性の誰にするだろうと考えました。あまり深く考えた訳ではありませんがその時は「ミリアム」を思い浮かべました。エジプト脱出を導いたモーセとアロンの姉という程度の知識でした。今回調べてみると、ミリアムの原意は不明で、エジプト語の綴りから推論すると「愛される者」という意味らしい。そしてMary-となりマリアであるらしいというのは面白かった（新聖書大辞典；キリスト新聞社1979年版～）。フフフ、姑は江見美子、わたしは淑子です。二人のよし子とマリアは気が合いました。

では本題です。前回の族長アブラハムからイサクヤコブそしてヨセフ物語に続き、ユダヤ民族がエジプトで奴隷状態から出る物語から始まります。ことの顛末を描いた。ハリウット映画「十戒」はご覧になったかもしれませんね。

ユダヤ人の勢力を削ぐため、エジプト王は男の子が産まれたら殺せと命令したのですが、モーセ、アロンは命がけで出産した母、助産婦に助けられ、ミリアム（姉）の知恵で、エジプト王の娘、王女に保護されます。女の連携がモーセの命を救い、一流の教育をうけて成人しました。賢いミリアムの行動を紹介するゆとりがないのですが、ミリアムはモーセとアロンに付き従いエジプトを脱出しました。絶体絶命の窮地から海の底を歩いて 60 万人は助かり、その後 40 年も荒野の旅をしました。困難を極めた旅でしたが、紅海を渡った記憶は民族の宝となりました。神の守りの偉大さに、感謝と賛美を歌う「海の歌」が聖書に特筆されています。その時、ミリアムは女預言者と言われ、女たちの歌をリードしています。どんなに誇らしかったことでしょう。

しかしアロンとミリアムの功績は聖書ではあまり評価されず、神はモーセを偏愛します。モーセが外国人を妻にした時二人は反対しました。外国人の妻は外国の神も連れてくるのが相場ですから、反対に意味はあったのですが、これがモーセ第一の神の逆鱗に触れ、ミリアムは重い皮膚病にかかってしまいます。共同体から排除される病です。しかしモーセの執り成しで、病は癒されました。

ミリアムの働きと功績、高揚感とその失墜。同情にあまりあります。詰まる所、あなたは人間を見るのか神の意志を見ているのか、ということなのでしょう。

な社会になってしまったのか？自問する日々である。

西川氏母子、周辺の人、スタッフの奮闘でセンターは 10 年以上地域の子ども達、大人達を力づけてきた。見せて下さった DVD の中で、センターの支援によって不登校から立ち直り、高校卒業、就職まで成長したトシオ君が「おばあちゃんが元気で長生きしてほしい」と言った時は・・・泣けた。私たちは応援団でありたい。

○○○の頃の私

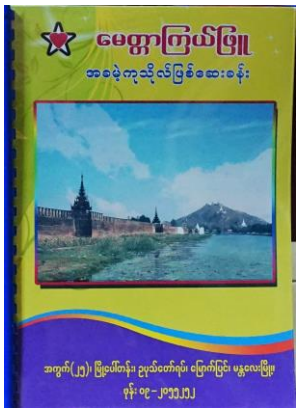
「40 年前の私」

藤好　基子

東京都渋谷区宇田川町の渋谷ホームズに、父の転勤で父母は芦屋から転居していました。渋谷といえば、昨年のハロウィンのバカ騒動を思い浮かべる方も多々いらっしゃると思いますが、父母が住んでいた頃の渋谷はとても魅了的なところでした。JR 渋谷駅から公園通りをゆっくり歩き、渋谷公会堂（今は建て替え中）を目指していくと左手に渋谷ホームスが有ります。11 階の部屋からは明治神宮の森、代々木公園が望め、東京タワーも見える立地でした。原宿へもタラタラいけましたが、もっぱら近場をウロウロして美味しいお寿司屋さんやラーメン屋さん、喫茶店、デパート、映画館もあり散歩コースを楽しみました。

初めての出産を控えて実家に戻っていたのです。父は仕事のない日には私のエスコートをして散歩に付き合ってくれ、いろいろな話をしてくれました。出産の前の私にゆったりした時間を父母は作ってくれていたのだろうと思います。その時は自分の事で精一杯で、今思い出すと父母の温かい配慮に感謝の気持ちを伝えていなかったことに気づきます。日本赤十字社医療センターで１月６日、午後４時 34 分に 16 時間 48 分掛かって長男を出産しました。お産って本当に大変ですが、母が「生竹を握りつぶすくらいの力で、目が霞むくらい」と言っていたので、「あらっ！目が見えてる」とおもっている間に天使のような我が子に出会えました。１月６日に男子出産したのは２人だけで、その M さんとは、ブランクもありましたが、今も年１回会って近況を語り合っています。（息子同士は１ヶ月検診で会っただけ）現在、天使だった長男は東京で仕事をし「縁がある」と日赤医療センター近くに住んでいます(*^^*)

ミャンマー、マンダレーのミッターチェービュー無料診療所への 1,000 ドルの寄付に対して，下のような感謝状と診療所の案内冊子が我がクラブに贈られました。



ニコニコ献金　２月　17,300 円

〈ニコニコメッセージ〉－２月例会 －

☆ 感謝にて
（大阪センテニアルクラブメネット・中村幸枝）

☆ なかのしまｙ’ｓの例会に参加出来てうれしく思います。（大阪センテニアルクラブ・山田孝彦）

☆ 中村ドクターからミャンマーの人々は貧しいけれども、不満もなく幸せに暮らしていると伺いました。私たちも子供の頃は貧しかったけれども、今よりも幸せだったかもしれません。（生雲）

☆ TOF の静かな例会のつもりが中村先生のお話し始め、土佐堀 YMCA と雰囲気が変わり、かえって賑やかに感じました。１食を節食してなかのしまクラブの元気な事、力強く思いました。（今井）

☆ 思いわずらいの多い２月も半分すぎました。春が待ち遠しいです。（江見）

☆ 今日のミャンマーのお話を楽しみにしておりました。有難うございます。10 年前のミャンマーとはかなり発展、変わっていることと想像しています。（大岸）

☆ 中村さんのお話でミャンマーの状況がとてもよくわかりました。これからもＹＭＣＡに来るミャンマーの留学生たちが生活に不安がないように温かく迎え入れていきたいと思います。（大橋）

☆ ミャンマーの人々が近代化によって失うかも知れない資質、それは日本が明治以降に経験してきたこと。そしてその結果として現在の日本人がいる。中村隆幸さんが惜しんでおられるのはそういうことではないか・・・と思う。本当にいちど訪問してみたい。（國友）

☆ 暖かい、寒い、が交互です。やっぱり「お水取り」までは～、と思うものの春に向かう気配が感じられます。（桑原）

☆ お腹をすかして、ミャンマーのお話をうかがえること、楽しみです。私たちが行った頃とは、随分変わったミャンマーの様子、興味シンシンです。（杉浦）

☆ ２月になって春を感じ、やっと気分が明るくなったようです。この１年も皆様に迷惑を掛けながら、頑張りたいと思います。（瀬島）

☆ 今日運転中、2回も危険な運転をしてしまいました。左車線の変更で事故を起しそうに、ミキサー車とダンプカーに挟まれ、心臓が止まりそうになりました。注意力が散漫になりました、老いが迫ってきたのかしら？
（武井）

☆ 渡辺さんがなくなって、とてもさみしいです。
（武井美帆）

☆ 姉がウクレレを習っています。私も習いたいと思っていますが、練習する暇がない残念です。（藤井）

☆ 待ちに待った中村メンのお話を聞けて、これから微力でも支援を続けていきたいと思いました。今夜は会長、司会に例会時間配分表を送るのを忘れてしまいました。司会が大橋さんで良かった！大橋さん、ありがとう。
（藤好）

☆ ４ヵ月ぶりです。うれしいな～。また太った？といわれましたが、太ってませ～～ん。髪を切ったので顔が丸くみえるだけです。（保田）

☆ ２月の卓話を非常に楽しみにしていた。もっともっとお話をお聞きしていたかった。マンダレー・HITO センターのスタッフの名前を聞き今もガンバッテいるようだ。何故か嬉しかった。（吉岡）

☆ 少しミヤンマーから離れていた気持ちが、中村メンの報告を聞き近づいてきたようです。これからはもっと心を寄せていきたいと思います。（吉田）

YMCAニュース

★ 第 311 回早天祈祷会
日時…2019 年３月 15 日（金）7:30～8:30
証し…藤岡　宏樹さん(大阪 YMCA 英語幼児園園長)
場所…大阪ＹＭＣＡ会館　10 階チャペル

★ 2018 年度ユースボランティアリーダー活動感謝式
日時…2019 年３月 21 日（木･祝）13:00～16:00
場所…大阪 YMCA 会館　２階ホール
内容…13:00 礼拝　13:30 感謝式・交流会
年間活動報告・感謝の盾授与他
申込…ウエルネス事業本部　担当：小西
06-6779-8362

２月第２例会報告抄
日時：2019 年２月 20 日（木）18:30～20:30
場所：大阪 YMCA・土佐堀会館 504 号室
出席者：15 名

1. ファミリーコンサート実行委員により、各メンバーにチケットの委託があり、チケット販売のための他クラブ訪問について調整を行った。
2. うなぎの森実行委員により、缶バッジ等の説明があった。
3. 次々期中西部部長キャビネットについて、話し合いがなされた。
4. メネット献金は国内 5,000 円、国際 5,000 円合わせて１万円を献金することとなった。
5. 日本YMCA同盟ユースファンド事業「上田キッチン」にニコニコファンドから 5,000 円、捧げることを決定した。

＝ お知らせ ＝
◎ 上好さん（今井さん友人）から BF 使用済み切手を頂きました。感謝！

編　集　後　記

梅が咲きほこり，すっかり春が感じられるこの頃です。でも「お水取り」までは油断できないかな？
後半戦只中の私たちワイズですが，楽しみつつプログラムをこなしていきたいですね。